

令和3年度・中学生防犯作文集

ストップ特殊詐欺！

～おじいちゃん、おばあちゃんが
電話でだまされないためには？～

- 多摩中央警察署 署長賞 1名
- 多摩稲城防犯協会 会長賞 1名
- 多摩稲城防犯協会 優秀賞 16名

応募総数 671 編
(多摩 321・稲城 350)

多摩稲城防犯協会

〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 1-26-1
多摩中央警察署内

電話・FAX 042 (337) 0019
Email: tamainagi-bouhan@nifty.com
HP: <http://tamainagibouhan.org/>

令和3年度多摩稲城中学生防犯作文表彰者

多摩中央警察署 署長賞（1編）

多摩市立諏訪中学校 2年 榎本麻優香

多摩稲城防犯協会会長賞（1編）

多摩市立諏訪中学校 2年 川口希穂菜

優秀作品（16編）

多摩市立多摩中学校	1年 大貫 千空	稲城市立稲城第二中学校	2年 岩尾 小晴
多摩市立諏訪中学校	2年 山下 心菜	稲城市立稲城第三中学校	2年 桐生 紬希
多摩市立諏訪中学校	2年 北中 美花	稲城市立稲城第三中学校	2年 藤本 梨央
多摩市立和田中学校	1年 三瓶 理央	稲城市立稲城第三中学校	2年 赤松咲英子
多摩市立和田中学校	1年 高杉 凜	稲城市立稲城第三中学校	2年 武田 優依
多摩市立和田中学校	1年 清水亜桜花	稲城市立稲城第五中学校	2年 治田 萌杏
多摩市立和田中学校	1年 鈴木 愛莉	稲城市立稲城第五中学校	2年 野村明日香
		稲城市立稲城第五中学校	2年 深町 琴海
		稲城市立稲城第五中学校	2年 阪倉氷菜多

令和3年度中学生防犯作文テーマの趣旨

今年度のテーマは、「ストップ特殊詐欺！～おじいちゃん、おばあちゃんが電話でだまされないためには？～」といたしました。

「特殊詐欺」とは、犯人が電話やハガキ（封書）等で親族や公共機関の職員を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金が受け取れるなどと言ってATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪（現金等と脅し取る恐喝や隙を見てキャッシュカード等をすり替えて盗み取る詐欺盗（窃盗）を含む。）のことです。特殊詐欺は、「オレオレ詐欺」「預貯金詐欺」「架空料金請求詐欺」「還付金詐欺」「融資保証金詐欺」「金融商品詐欺」「ギャンブル詐欺」「交際あっせん詐欺」「その他の特殊詐欺」「キャッシュカード詐欺盗（窃盗）」の10種類に分類されます。

中学生に「特殊詐欺」とは、如何なものかと思いますが、身近な高齢者だけでなく、一般の方も大変な被害に見舞われています。そこで、息子、孫世代の方に特殊詐欺の被害実態を知っていただき、「自分の家族を守っていただきたい。」「子ども達に振り込め詐欺の犯罪に巻き込まれないでほしい。」ということ。

都内における被害件数は令和3年4月末現在、1,183件、被害金額約24億800万円で、多摩中央警察署管内でも5件、約7百90万円という状況です。多くの高齢者が被害にあわれ、大切な財産を犯人に奪われ、大変後悔しています。そうした思いをしないためにも、家族全員で、「大切な自分の家族を特殊詐欺の被害者にさせない。」と考えていただき、行動をしていくことが重要です。

また、都内での特殊詐欺で検挙された少年は減少傾向ですが、検挙された少年の多くはいわゆる現金やキャッシュカードを取りに行く、受け子です。少年の多くは加害者意識が希薄でアルバイト感覚で安易に犯罪に手を染めている実態があります。

この機会に是非家族全員で「特殊詐欺」について考えていただきたいと思います。

趣旨をご理解のうえより多くの生徒の皆さんが応募に参加されますようご協力のほどよろしくお願いいたします。

多摩市立諏訪中学校

二年 榎 本 麻優香

近年、電話で詐欺に遭ってしまう高齢者が増加している。実際に、私の祖父母にも詐欺の電話があり、多くの高齢者が被害を受けている。

では、どうして電話で騙されてしまうのだろうか。一つの原因は、子や孫への愛だろう。子供や孫を装い、お金を騙し取る詐欺は「助けてあげたい。可哀想だ。」という愛を利用している。

もう一つは、相談できる相手が私達と比べて少ない傾向があることだろう。犯人から多くの情報を伝えられて混乱し、止める相手がいないまま被害に遭う、というケースが多い。

このような詐欺から自分達の祖父母を守る為に、何ができるのだろうか。孫という存在に関連した詐欺なら、私達にできることは多い。例えば、頻繁に連絡を取ることで。その時に何か怪しい電話があったか尋ねたり、詐欺に注意するように伝えるといいだろう。私も祖父母と話す時は、本人だと確認する為の合言葉を作るなど、色々な策を取っている。それに、電話でたくさん話せば、孫の声を覚えることができるから、詐欺の電話で違和感を感じて、被害を食い止められるかもしれない。もし直接会う機会があれば、詐欺のシミュレーションをしてもいいだろう。自分が犯人役で、詐欺がどんなものを体験してもらえば、より警戒心を持ってもらえると思う。

今まで、詐欺について深く考えたことはなかったが、オレオレ詐欺は私達の力で被害を防ぐことができると気付いた。詐欺に遭ってしまったら、二度とお金は返って来ないし、後悔も募り、心は傷つく。自分の大切な家族を少しでも詐欺の被害から守り、安心して暮らしてもらう為に、自分ができ最大限取り組んでいきたいと思う。

多摩稲城防犯協会 会長賞

多摩市立諏訪中学校

二年 川 口 希穂菜

特殊詐欺は、年齢関係なく起こりうるものですが、その中でももっともオレオレ

詐欺などの被害が高齢女性に集中している原因としては、在宅時間が長く独居割合も高いということで、自ら電話等の応対をする頻度が高いといった生活パターンも原因の一つでしょう。振り込め詐欺の中でも、融資保証金詐欺の被害は経営者が多い四十、五十代男性に目立ち、架空請求詐欺については、幅広い年齢層が被害にあっていることから、「誰しもが詐欺の被害になりうる」という認識を持つことは重要です。高齢者の過信、(自信過剰)と詐欺被害については、「だまされない自信がある」と思っている人が多く、高齢になるほど強まることも明らかになっています。行動経済学では、この「自分はだまされない」といった自分自身の能力や性格に対する過度な楽観を「自信過剰(バイアス)」と呼び、楽観主義は、とりわけ自分の力では制御できない外的な問題に対しては、自尊心や心の健康の向上に役立つ面もあるでしょう。しかし、投資などの金融行動をはじめ、生活上の重要な判断を求められる局面においては、大きな危険の原因となります。詐欺についても同様であり、自信過剰は被害防止や予防策への無関心の原因となります。

このような原因を解決する為に対策としては、一つ目は「自分や自分の家族は大丈夫」という思い込みを捨てること。常に「自分もだまされるかもしれない」という意識を持っていた方が逆に安心です。二つ目は特殊詐欺・振り込め詐欺の常套句を電話の横に貼っておくことです。電話を受けたときに、振り込め詐欺の常套句を目にすることで、怪しい電話かどうか判断しやすくなります。

このように、これらの対策を活用して少しでも高齢者の特殊詐欺が減ればいいなと思います。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立多摩中学校

一年 大 貫 千 空

僕は祖父母にかわいがられて育ちました。小さい頃から遊びに行くたびに、おもちゃや本を買ったり、ごちそうを作ったりしてくれました。僕はそんな祖父母を守りたいと思っています。ニュースで高齢者をねらった電話での詐欺を耳にすることがあります。僕は、高齢者の優しい気持ちにつけこんでだますことは、絶対にやってはいけないことだと思います。高齢者をだますことに罪悪感を感じないことは悲しいことです。

僕は特殊詐欺が起きる原因に少子高齢化と核家族化があると思います。高齢者だけで住むことが増えることで、遠くで暮らす人は会う機会が減り、電話することが

増えています。また、核家族化により、祖父母とのつながりが弱くなり、同世代としかつながりがないことから、高齢者をだますことに罪悪感を感じなくなっているのではないかと思います。

これを防ぐためには、祖父母と会う機会を増やすことが必要だと思います。僕は、これからも積極的に祖父母に会いに行くようにしたいと思います。しかし、コロナ禍で外出や帰省の自粛が呼びかけられているため、会いに行きにくい状況になってしまっています。早くコロナが収まるとともに、高齢者との関わりを築き直すことで、特殊詐欺がなくなることを願っています。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立諏訪中学校

二年 山下 心菜

私は特殊詐欺の中で振り込め詐欺について書こうと思います。

まず、振り込め詐欺とは親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等を騙し取る手口です。

どうして騙されてしまうのか？原因は「被害にあうと思わなかった」という人など、詐欺への無関心さが仇となってしまうたり五十歳から認知機能が低下してしまうので、家族の声が認識しづらくなっているのです、親族だと勘違いしてしまうからです。また犯人などに身内や自身の危険が迫っている事を伝えられると不安や恐怖から判断力が低下してしまいます。また時間を与えられず「お金を払う」こと以外対処策を見つけれない状況に追い込まれ騙されてしまいます。

このような原因を解決するためにどのような対策があるのか、まず一つ目、詐欺について少しでも知っておくこと。詐欺について知らないと言った内容を信じてしまい騙されてしまう可能性があります。なので、少しでも詐欺について知っておいた方が良いでしょう。二つ目は家族との間で合言葉を決めておくこと。家族の声に似ていたとしても本人かどうか判別がつけやすくなる。三つ目、犯人から身内や自身に危険が迫っていることを言われたら、まず冷静になって家族や警察の方に相談すること。四つ目、まずそのような電話がかかってきたら、電話越しでは分からないので本人に相手方を連れてきてもらって確認する。一応警察にも来てもらう。そうすればお金についてしっかりと考える事が出来る。

今回の振り込め詐欺の他にも特殊詐欺はありますが、その詐欺がいつ自分の身にふりかかるか分かりません。ですからどんな時も冷静になって考えることが大切です。

す。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立諏訪中学校

二年 北中美花

近年、被害が増加している特殊詐欺ですが、その中でも高齢者を狙った「オレオレ詐欺」に騙されてしまう人の事をよく聞きます。オレオレ詐欺にひっかかってしまう背景にはどのような原因があるのでしょうか…。

まず、一つ目に考えられるのは詐欺を身近に感じていないということ。二つ目には、詐欺に対する知識が少ないということが原因として考えられます。詐欺を身近に感じていないことで「自分は騙されない。大丈夫。」という油断が生まれ、その油断で痛い目にあってしまうケースも少なくありません。では、このような被害にあわないように、また、あっても騙されないようにするにはどうしたらいいのでしょうか。

第一に、詐欺に対しての知識を増やすことが大切です。近所の詐欺対策のワークショップに参加するなど、少しずつでも知識を増やすことが詐欺にひっかからない為の一步になります。他にも頻繁に連絡をとる人とは合言葉を作るなど、少しの行動でももしもの時には役立つかもしれません。

このように詐欺は、いくらでも「自分」で対策することができます。それでもいざその時になると不安で信じてしまいそうになるかも知れません。そんな時は一人で決断せず、周りに相談してみる事も大切だという事を忘れないで下さい。きっと力になってくれる人がいるはずです。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立和田中学校

一年 三瓶理央

特殊詐欺からおじいちゃん、おばあちゃんを守るために、私が出れることは次のことだと考えました。

それは、普段からおじいちゃん、おばあちゃんと連絡をとり、話を聞くことです。普段から話を聞くことができれば、銀行に行くと言っていたら、止めることができますし、怪しい電話が来て、息子が会社で大きなミスをしたため、〇万円払わなければ

ばいけないなどと言われても、すぐに確認でき、詐欺だと気付くことができます。また、もし特殊詐欺にあつてしまったとき、そのことを話しやすい環境なら、すぐに対応できると思つたからです。

このように、特殊詐欺からおじいちゃん、おばあちゃんを守るためには普段から話を聞くことが大切だと思います。これからおじいちゃん、おばあちゃんと連絡をとり、たくさん話をしたいです。また、私が大きくなってお父さん、お母さんがおじいちゃん、おばあちゃんになつても特殊詐欺から守れるように、今のうちからたくさん話そうと思いました。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立和田中学校

一年 高杉 凜

近年増えている電話での特殊詐欺で、だまされないための私が考える対策を書きたいと思います。

まずは、知らない番号の電話には出ないことです。番号が分からなければ知らない人という可能性もあるからです。その後、知り合いの人の電話番号を確認して、再度かけ直せば良いので、番号を見た時にパツと頭に出てこなかったら一回スルーし、確認することです。

次は、四六時中留守番電話にすることです。留守番電話にしておけば、メッセージを残してくれる人もいるので、知っている人だと分かりやすくなると思います。そして、会話を録音することです。録音することで後で何回も聞くことが出来ます。そのため、家族などに相談するときも聞いてみんなで共有できるし、詐欺だった時の証拠にもなるからです。

また、知り合い、家族などの電話する人の番号を電話登録したりなど、小さなことでも対策の一つになると思います。

このような一つ一つの小さな対策の積み重ねをして、詐欺が減っていけばいいなと思います。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立和田中学校

一年 清水 亜桜花

私は、おじいちゃん、おばあちゃんが大好きです。その大好きな人達が悲しい想いをしないために特殊詐欺の手口などを調べて、どのような対策をしたらいいのか考えました。

特殊詐欺とは、犯人が電話やハガキ等で親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金を受けとれるなどと言つてATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪のことです。このような特殊詐欺にだまされないようにするには、誰かに相談することです。家族でもいいし、詐欺無料相談というものもあります。次に、確認することです。例えば、「電話番号を変えた」と言われたとき、もう一度前の電話番号にかけて確認することです。そして最後に家族で暗号を決めることです。暗号を決めることで電話をしたときに家族だと分かり、安心して話すことができます。

このような対策をたくさんの人に知ってもらい、被害に遭う人を少しでも多く減らしたいです。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立和田中学校

一年 鈴木 愛莉

私は、オレオレ詐欺を防ぐ為に、自分や家族ができることを考えました。オレオレ詐欺とは、親族や警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件、事故に対する示談金等を名目に金銭等をだましとる手口です。

このような悪質詐欺を防ぐためには、家族が祖父母にオレオレ詐欺の事案を伝え、気をつけてほしいと伝えたり、離れた場所に住んでいる場合は、普段から電話やビデオチャットなどでコミュニケーションをとることが大切だと思います。また、一番効果的だと思うのは、詐欺かどうかを確かめるための合言葉を決めておく事だと思います。そうすれば不審な電話を受けた時に、その場で判断できると思うからです。祖父母にしてもらいたい事は、不審な電話を受けた時は、一度切つて親族本人の元の番号に電話をかけ、状況を確認することです。連絡がとれない場合は警察等の相談ができる所に連絡をするのが良いと思います。

オレオレ詐欺は、家族の絆を利用した犯罪です。もし、祖父母が被害にあつてしまったらと考えると、不安になり、悲しみと怒りの感情が湧きます。祖父母自身も家族も、他人事だと思わず、普段からよく話し合い、心の準備をしておく事が大切だと思います。

稲城市立稲城第三中学校

二年 岩尾 小 蒔

近年、増加している特殊詐欺の対策について、私は二つの案を考えた。

一つ目は、人との関わりをたくさん持つことだ。知らない電話番号に出ないことや、電話の内容を録音するといった自分で出来る対策はもろんのこと、日頃から話す人がいれば、一人で悩まずに相談して正常な判断ができると考えるからだ。地域の集まりに積極的に参加することから始めていくべきだと思う。

二つ目は、民生委員の活動を活発にすることだ。民生委員とは地域福祉をサポートする身近な相談相手のことだ。実際に、高齢者の方が助けてもらっている話を近くで聞いたことがある。しかし、世間的にはまだ浸透していない。一一〇番通報のように分かりやすい番号にするなど、気軽に相談できると良いのではないかと思う。民生委員ではなくても、身近な窓口があると、離れて暮らす家族も安心できると考えた。

以上のことから、地域の集まりに参加し人との関わりを増やす、民生委員を活発にし浸透させる、といった対策をとり、特殊詐欺に注意していくべきだと思う。そして私達自身も高齢者の方々に気にかけて暮らしていくことが何より大切だと思う。

稲城市立稲城第三中学校

二年 桐 生 紬 希

今の時代、日本では電話でお年寄りを騙してお金を取る特殊詐欺が多発しています。「自分は関係ない」そう思っている人もいます。しかし、それほど低くない確率で私たちのまわりに詐欺は存在していると思います。自分ではなくても自分達の身の近く存在しているかもしれない。私がこのことを実感したのは祖母の話聞いた時からです。

私の父が結婚する前の時、祖母の家に電話がかかってきたそうです。祖母が電話に出ると、「あっ〇〇だけど？」という男の声が聞こえたそうです。しかし、祖母の家にはそんな名前の人はおらず、祖母は「うちに〇〇という子はいません。」と言って電話を切ったそうです。

祖母は後で気付いたそうですが、その男が言った〇〇という名前は、私の父の名

前の漢字を読み間違えた名前でした。祖母は私の父の名前が読みにくかったので詐欺にかならなかったそうです。

この様に他人事だと思っていた詐欺が自分の家族の近くに存在していた事を知りました。みなさんも他人事だと思わないでまずは家族で話し合っ合言葉を決めるなどの対策を考えてみるようにして下さい。

稲城市立稲城第三中学校

二年 藤 本 梨 央

人は大事な家族から、「助けて欲しい」と電話がかかってくると、普段では落ち着いて考える事が出来るのに慌ててしまう。おじいちゃん、おばあちゃんが電話での詐欺でだまされないうために私が考えた事は三つあります。

一つ目は、普段ニュースでも言われている家族で合言葉を決めておく事。「お金が必要だ」「別の人が取りに行く」と言われた時は、家族しか知らない昔の話やベットの名前などを聞いてみるのも良いと思います。

二つ目は、すぐに誰かに相談する事。「携帯番号が急に変わった」と言われても、必ず登録してある番号に掛けてみる。そして、一人で判断せずに相談する事が大事だと考えます。

三つ目は、後から聴き直せるように、「この電話は録音してある」と伝える事。本当に録音できる機械もありますが、ウソで言うのも効果があると、テレビで見た事があります。詐欺をしようと思う人は、声が残るのはイヤがるので、電話を切る場合があると思います。

この三つは、とても普通の簡単な事です。慌てていたり、動揺している時だからこそ、簡単にできる事が大切だと考えます。

稲城市立稲城第三中学校

二年 赤 松 咲 英 子

私は、おじいちゃん、おばあちゃんがすごく好きです。なぜなら、私の力になってくれるし、知識を分けてくれるからなどたくさん理由があります。だから、特

殊詐欺にかからないよう守りたいです。

では、私には一体何ができるでしょうか。学生である私は、毎日祖父母の電話の内容を把握することはできません。学校に行くからです。

そこで私は、疑わしい電話が祖父母にかかってきたら一度話を保留にしてみようと思います。もちろん、疑わしいといっても人によって基準が違うという難点があります。ですが、疑う事は非常に重要な事だと考えます。疑う事によって危機感もてるからです。そして何より難しい事ではないからです。歳をとると、私たち若者よりできる事が限られます。何か技術がある訳ではありません。なのでまず疑うという事を行ってほしいです。そして保留にしてもいい、家族で内容を教えてもらい話し合いたいです。数があればあるほど意見がでるはずなので、私一人より安全です。

疑う、そして疑わしいものは一度保留にするということを経験した祖父母に行ってもらいたいです。大事な存在なので私達家族が力になって守っていききたいです。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

稲城市立稲城第三中学校

二年 武田 優 依

実際にあったお話です。

私の祖父母の家に、こんな電話がありました。「あなたの息子○○さんが、人を傷つけてしまって、示談をするのにお金が必要です。今すぐ百万円を振り込んでください」と電話がありました。その時、祖母は一瞬びっくりしてしまったそうです。しかし、冷静になり「今、息子の○○は家にいますけど」と言ったら、相手の方は電話をすぐに切ってしまった。この時祖母が言ったあの言葉は実はうそだった。自分の息子は家にいなかったのです。もしかしたら、祖母たちはこの電話の先には息子ではない人が話しているのではないかと思い、あの言葉を言ったのです。そしてらみごとにだまされずにすみ、オレオレ詐欺にひっかかることがありませんでした。「こういった実際の体験談から、オレオレ詐欺に対しての知恵ができた」と言っていました。私がこの話を聞いた時は、とてもほっとしました。なぜなら、祖母たちがオレオレ詐欺をげきたいしからずです。

オレオレ詐欺に勝つにはまず、冷静な対応をとる。もしもそれが怖い人は、本人かどうかを確認するための家族しか知らない、キーワードを決めておくことをした方がよいのかと思います。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

稲城市立稲城第五中学校

二年 治田 萌 杏

私はおじいちゃんとおばあちゃんとの間に合図を作ればいいと思います。

私は昔に見たアニメでこんな話がありました。何にでも変身できる怪物が主人公の友達を襲います。それを見た主人公は友達を助けようと思いますが、怪物は友達そっくりに変身しているため、怪物がどっちだか分からないのです。しかし、そこで友達は主人公にしか分からない二人だけの合図を送ります。そのことによりどっちが友達でどっちが怪物かに気づいた主人公は、怪物を倒すことに成功するのです。これを見て私は、その人たちだけの合図を作れば誰も騙されることなく平和な社会になれるのではないかと思います。そして、特にオレオレ詐欺ではこのようにして合図を作り防ぐことが重要だと思いました。

私がここという合図とは、何でもいと思っています。何かの食べ物や物の名前にしてもいいですし、他にもペットの名前やあだ名など、とにかくおじいちゃんとおばあちゃんと自分だけが知っているワードが大切だと思います。それでも難しい場合は、一ヶ月ごとに合図を変えたりたくさんさんの改善策があると思います。

そのため、まずはために合図を作ってみるのはどうでしょうか。それで特殊詐欺が全て無くなるのは難しいですが、一つ二つなど少しずつでも無くなっていくと思うのです。だから皆さんもやってみてください。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

稲城市立稲城第五中学校

二年 野村 明日香

私は電話の特殊詐欺が多発することについて、詐欺師達は高齢者を騙すのが容易だと考えているに違いないと思う。なぜなら高齢者は人と話す機会が少なく、物事を全く疑わないからだ。私はこの問題点が解決すればかなりの詐欺の数が減ると思う。減らすには日頃からの対策が必要だ。簡単に始められることとして、詐欺電話への意識を高めるのがあると思う。意識をすると電話に出るたびに警戒することができ、すぐに電話を切れる。しかしこれでも忘れてしまうと疑いなく引つかかってしまうだろう。そこでもう一つの策として電話帳に電話番号を登録し、知らない電話番号からの電話には出ないというのもありだと思う。この場合、少し手間がか

かるが詐欺に引つかかるよりは良いので、ぜひ設定してもらいたいと思う。

私は先ほど挙げた二つの案が、特殊詐欺電話において最適な対策ではないかと考える。どちらか一つでもその力を十分発揮することができれば。だがしかし、二つの案両方を使い、二ステップの壁を作ることによって詐欺師はその壁を崩すのが難しくなり、私達はやっと安心して通話できるのではないだろうか。これらの理由により、特殊詐欺で高齢者が騙されたいめには、詐欺電話への意識を高める。電話帳に登録し、知らない番号からの電話には出ない。この二つを実施することが詐欺による被害者を減らす第一歩になると考える。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

稲城市立稲城第五中学校

二年 深町 琴海

電話でだまされたいめの対策を3つ言います。

一つ目は、私は絶対だまされたいと油断しないことです。オレオレ詐欺では油断してしまい、結局信じてしまったという事例が多いです。油断しないで、電話の機能に変な電話が来たら切ってくれる機能を入れるなどすると、良いかもしれません。

二つ目は、誰なのか聞くことです。実際に私の祖母にも電話が来たことがあったそうです。そのときに「俺だよ俺」と言われたそうです。このように、息子を名乗ることが多いです。私の祖母は「誰ですか?」と聞いたそうです。「俺だよ、分からないの?」と言われたりしたそうなので、あやしいときはすぐに切りましょう。

三つ目は、警察に相談することです。あやしいなと思ったらすぐに警察に連絡すること、お金がとられる前にたい捕してくれたりします。私は毎日、オレオレ詐欺にだまされない劇場というニュースの中でやっているコーナーを見えています。良かったら見てみて下さい。そのコーナーで、警察に相談することで、被害に遭わずにすんだことが多くありました。なので、警察に相談することをオススメします。このようにして詐欺を防ぎましょう!!

多摩稲城防犯協会 優秀賞

稲城市立稲城第五中学校

二年 阪倉 氷菜多

おじいちゃん、おばあちゃんが身近な犯罪から身を守るためにはどうしたら良い

のでしょうか? 私は地域でできる対策例を二つ思いついたので、それを紹介します。

一つ目は、お年寄りがいる家に呼び掛けの紙を配ります。その内容は犯罪の手口の例です。更に電話の近くにはつてもらえるようにすれば、犯罪の被害に遭う可能性は低くなると思います。配布方法は、ポストに入れたり学校で配るなどが良いと思います。

二つ目は、町にポスターなどをはる対策です。理由は、ポスターなどを見られやすいところに置くと少しは注意してくれると思うからです。そして書いた方もおじいちゃん、おばあちゃんになったら気を付けようと、少しは思うと思います。ポスターをはる場所は目立つ場所が良いと思います。よく学校の宿題で描いているポスターは、町中であまり見かけないから、せっかく描いたのにより対策にならなくてもつたいないと思います。なので、もっとコピーとかしてたくさんはった方が、対策になると思います。

私はこの作文で挙げた対策例以外にも、もっとたくさん対策方法があると思います。地域で取り組む対策以外にも、自分で簡単に取り組める対策があったら、率先して取り組もうと思います。一人一人が意識を持って、呼び掛けたら犯罪の被害の規模を少しでも小さくできると思います。